

105,665柱の英霊が鎮まり坐す大阪護國神社の社



第3回大阪護國神社子ども絵画コンクール【崇敬会会長賞】

「伏見稲荷の夜」 亀井 彩羽さん 高校2年生



第61号

発行所

大阪市住之江区南加賀屋1-1-77

大阪護國神社社務所

電話 06-6681-2372

FAX 06-6681-2227

御挨拶

大阪護國神社 宮司 藤江正鎮

御遺族・崇敬者各位には、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。平素は御祭神に崇敬報謝の誠をもちまして、格別の御奉賛を賜り、誠に有難く存じます。

今年の二月にロシアの侵攻から始まったウクライナでの戦闘は早くも半年以上が経ち、一進一退の攻防が今も続き、先行きは不透明のままです。そもその戦争の原因には諸説ありますが、例えば事情がどうあれ、一方的に攻め込まれたウクライナの方々にとって、無責任な日本の知識人が主張するような「降伏」という状況は受け容れられないでしょう。特にロシアの過酷な占領政策を知る国々からすれば、愛する祖国と家族を守るため、どのような犠牲を払ってでも戦い抜かねばならないという覚悟があると感じられます。その気高い姿に、先の大戦で大国相手に戦い抜いた日本軍人と、それを支えた市井の人々の姿が思い起こされます。そして、かの国の苦難を思うとき、一刻も早く、ロシアがウクライナから撤退し、停戦となることを願わずにはられません。

さて、翻って現在の日本を取り巻く状況はどうでしょうか。地政学的にも政治的にも単純な比較は出来ませんが、今の平穏な日々がこの先も続く保証はありません。憲法九条さえあれば戦争は起きない、との主張もありますが、ウクライナのように一方的に攻め込まれる可能性が絶対に無いとは言えないのが現実でしょう。実際に北方四島が未だ日本に戻ってきておりませんし、竹島は他国に実効支配されています。尖閣諸島においても毎日のように海域に侵入する国があります。加えてインド太平洋地域の現在を俯瞰すると、日本にとっても他人事ではなく、極めて不安定なアジア情勢をも考慮すれば、自国を如何に護るかをしっかりと真剣に考えねばならない時期にきていると言えます。

靖國神社を始め、全国の護國神社に鎮まります英霊は、祖国日本を護るために尊い命を捧げられました。そうして護られた日本を後世に引き継ぐ責任が我々にはあります。そのためにも、志半ばで凶弾に倒れられた安倍元首相が掲げられていた「戦後レジーム」からの脱却の遺志を継承し、英霊に恥じることのない誇り高い日本を取り戻したいと願うばかりです。

お正月点描

本年のお正月は、例年にも増して大勢の参拝が有り、三ケ日のみならず、十五日の左義長(とんど祭)まで境内は参拝者で賑わいました。社務所に新設された授与所は勿論、特設のテント授与所にも御神札やお守り、干支の縁起物を受ける方が多くお越しになり、早朝より夕刻まで賑わいました。

また、神前にはご遺族・崇敬者より奉納された多くの鏡餅が供えられ、英霊には定めし御嘉応のことと拝察致します。

ご奉納下さいました各位には厚く御礼を申し上げます。



本年上半年期各大祭・中祭のご案内

当大阪護國神社では、神社本庁の神社祭祀規定に則り、本年の上半年は左記の大祭及び中祭を斎行致しました。

●大祭

二月十七日 午前十時 祈年祭
 五月二十日 午前十時 春季例大祭

●中祭

一月一日 午前八時 歳旦祭
 一月三日 午前十時 元始祭
 二月十一日 午前十時 紀元祭
 二月二十三日 午前十時 天長祭
 四月二十九日 午前十時 昭和祭

いずれの祭典も本殿の御扉が開けられ、外陣の中に神饌をお供え申し上げております。また、大祭では正服、中祭では斎服と称される装束を着装致しますので、神職の装いにも是非ご注目下さい。

各祭典はどなたでも参列頂けます。皆様のご参拝をお待ち申し上げております。

仁徳天皇正辰祭斎行

令和四年二月八日(火)午前十時より大阪護國神社境内社「浪速宮」に於きまして、仁徳天皇正辰祭が斎行されました。仁徳天皇の御命日に当たる二月八日に毎年斎行しています。当日は祭典に合わせ、社殿内に仁徳天皇の故事に由来する梅の花を御供えています。

戦後のGHQの神道指令により改名を余儀なくされ、仁徳天皇を御奉斎申し上げますこととで存続を許された当社では、大阪護國神社と復称した後も御祭神としてお祀りしています。浪速宮は昨年より毎日開扉し、広くお詣り頂けるように致しました。より多くの人にお参り頂ければと存じます。

東郷祭斎行

令和四年五月三十日(月)午前十時より「浪速宮」に於きまして、東郷祭が斎行されました。東郷元帥の御命日に当たる五月三十日に毎年斎行しています。

一昨年よりコロナ禍で規模を縮小しての斎行が続いていましたが、今年は幸いにも以前

に近い状態での斎行が出来ました。また当日は日の丸マークットの開催日と重なり、境内が賑わう中での斎行となりました。

昨年より浪速宮御朱印を始め、乙旗を模した必勝守に戦艦三笠の絵が刻印された板守などの御祭神の勝利を掴む御神徳にあやかっただけでなく、授与品をご用意致しております。浪速宮がより多くの方にお参り頂く事で、東郷祭の意義も更に大きくなる事と思っております。

沖繩本土復帰五十年報告祭斎行

本年は沖繩本土復帰五十年の節目の年であり当社でも五月十五日に参列者と共に本土復帰五十年祭を行いました。

昭和二十年六月の沖繩最終戦において太田実司令官は『沖繩県民斯克戦えり。県民に対し後世特別の御高配を賜らんことを』と日本国民に言い遣しました。戦後二十七年にわたる米国の占領下にあった沖繩は様々な苦難の日々を過ごし、本土復帰後の今も多くの問題を抱えています。現代に生きる我々にとって太田司令官のお言葉は決して忘れてはならない言霊であると、深く皆様のお心に届く事を祈念致しました。



春季例大祭齋行

令和四年五月二十日（金）午前十時より春季例大祭が齋行されました。

一昨年より新型コロナウイルス感染症対策の為、規模を縮小しての齋行が続いていました。まだ警戒が完全に解けない状況ではありましたが、今年は幸いにも昨年より多くの御来賓に御昇殿頂き、境内のテントにも多くの参列者をご参集下さいました。また本年は天候にも恵まれ、より以前に近い形で齋行が実現できた事は幸いでした。

此度の例大祭にも数多くの企業や個人からお供えを頂き、誠に有難うございます。

一昨年より境内全ての参列者に大祭の最後の行事として玉串をお供え頂く事と致しました。本年も多くの皆様に御本殿にお詣りいただきまして、皆様の英霊へのお気持ちの強さを改めて感じております。このような場を設ける事が出来まして、本当に良かったと考えております。参列者の皆様の思い、祈り、願い、感謝の気持ち等が英霊に届くことをお祈り致します。よろしければ本年十月二十日の秋季例大祭、そして今後の例大祭にお越しいただき英霊にお詣り下さい。皆様のご参拝をお待ち致しております。

まだまだコロナ禍が収まる気配を見せない状況ではありますが、本年の秋季例大祭の頃にはこの流れが収まり以前の様に齋行できる事を願っております。



協賛企業（順不同・敬称略）

宝酒造・大関・白鶴酒造・菊正宗酒造・小西酒造・辰馬本家酒造・日本盛・サントリー・メルシャン・アサヒビール・大 waters 産・大醬・銭高組・三和・住之江興業・スミノエマリンシステム・堂島取引所・大阪商工会議所

ミッドウェー海戦八十年慰霊祭齋行

本年は大東亜戦争で戦局逆転の契機になったミッドウェー海戦から八十年の節目の年です。南雲忠一中将率いる空母「赤城」「加賀」「蒼龍」「飛龍」を始めとする日本海軍の精鋭部隊は遙か南洋のミッドウェーにて米国と矛を交え敵空母一隻を沈めるも結果として、空母四隻と重巡洋艦「三隈」を喪失しました。護国の神に神上る三千有余の英霊の慰霊顕彰は今を生きる私達の務めとして六月五日に参列の皆様と共に厳粛に齋行いたしました。

七夕飾り

今年も社頭に七夕飾りを設置致しました。

本年は約一か月かけて折紙で飾りを手作り致しました。織姫様と彦星様、天の川をはじめ、七夕をイメージした七夕飾りを設らえました。笹は七夕飾りだけではなく、短冊もつけられるように、全十一色ご用意致しました。多くの参拝者が様々な願い事を短冊に書いて下さり、おかげさまでより賑やかな笹となりました。

七夕飾りと多くの短冊、笹は皆様の夢や願いが叶いますように祈念したのちお焚き上げ致しました。



第三回 子ども絵画コンクール

令和二年より行っております、大阪護國神社崇敬会主催による子ども絵画コンクールを本年も開催致しました。テーマは昨年と同じく、「神社」「日本国旗のある風景」「古事記」としたところ、過去二回を超える七十九点の力作を奉納頂きました。

審査は毎年講評をいただく美術科教師の浪速学院高校山本英俊教頭にお願ひし、下記の通り入選作品八点を選んでいただきました。

八月十四日の奉納奉告祭は四十六家族百名を超す参列者にお越しいただきました。祭典では受賞者による代表玉串に合わせて厳肅な中に緊張した面持ちの子ども達が作法に従い拝礼しました。

奉告祭後は受賞者に表彰状と記念品が崇敬会寺内俊太郎会長より授与され、家族も含め全員での集合写真撮影を行い、受賞作品の講評が披露されました。子ども達は熱心にお互いの作品に見入っていました。

今回も応募された子ども達全員に自分の描いた作品をクリアファイルに印刷した記念に残る撤下品と、神社本庁よりの下敷き、奥村元昭氏から奉納頂いたノート、永田産業株式会社様に御協賛頂いたお菓子等の記念品を贈呈しました。自分が描いた提灯の前で満面の笑みを浮かべ、その姿を御父兄方が写真撮影する光景を英霊も優しく見守られていたと考

えます。
真夏の夕べに境内を幽玄に照らす子ども達の絵画提灯は、当社の「みたままつり」での新しい祭典としてこれからもしっかりと受け継いで行きます。



【宮司賞】「四季」 奥 真奈美さん 高校2年生

山の木々の丸と屋根瓦の直線の形の対比、また山の緑と地面の青色とオレンジの色の対比が独特のリズムを生み出しています。日本画の風景画にも似たような印象を与えており、センスを感じさせる作品に仕上がっております。

表紙の作品

講評：浪速学院 浪速高等学校・中学校
教頭 美術科 山本英俊 先生

【崇敬会会長賞】「伏見稲荷の夜」

亀井彩羽さん 高校2年生

大変ドラマチックな作品で、印象深く感じました。お社に集うたくさんの狐が逆光の中で輝いて見え、夜の静寂さと神秘性を感じさせます。数多い狐の中で、一匹だけをこちらを向かせることで、見る人を絵の世界の中に誘っているようにも感じました。実力のある大変優れた作品だと思います。

【中学・高校生部門優秀賞】
 「天照大神」 山本凜さん 高校3年生
 中学・高校生部門はさすが実力者揃いで見ごたえがありました。本作は天照大神を丹念な筆致で神々しく描いています。勾玉や着物の色使いも、様々な色を配しており観察力がうかがえます。非常に安定した仕上がりになっており、普段から好きでイラストを描いているのだらうことが想像できます。



【責任役員賞】

「いなばの白うさぎ」 中村 初音さん 小学6年生

茜色に染まろうとしている空の色と、白うさぎの対比が非常に美しい、印象深い作品です。ワニ(鮫)のつぶらな瞳と、白うさぎの理知的な瞳の対象もおもしろく感じました。色の使い方にセンスを感じさせる作品に仕上がっていると思います。

【小学校低学年部門優秀賞】
 「いなばの白うさぎ」 飯田 美紅さん 小学3年生
 ずらりと並んだワニ(鮫)の上を、因幡の白うさぎが軽快なリズムで飛び出した瞬間が、個性的なタッチで描かれています。小学低学年部門は作品数も多く、その分力作揃いで選定に悩みましたが、大膽かつ簡潔な絵柄が決め手になりました。



【小学校高学年部門優秀賞】

「御祈願」 巽 愛莉さん 小学4年生

画面右側の赤から紫へのグラデーションと画面左側の木と地面の緑が補色関係になっており、より赤色を引き立たせています。手前に描かれた牡鹿と右端の川がいいアクセントになっているように思えます。



【幼児部門優秀賞】

「ヤマタノオロチ」 堀 洸太さん 年長

昨年に続き連続の受賞で、確かな実力を感じます。是非今後も好きな絵を描き続けてください。画面いっぱいに描かれたヤマタノオロチの首と須佐之男命(スサノノミコト)との大きさの対比でヤマタノオロチの迫力が伝わってきます。暗く描かれたオロチと白い服の須佐之男命との色の対比も画面にメリハリを与えています。



【小学校低学年部門優秀賞】

「国生み」 堀 花香さん 小学2年生

伊邪那岐(イザナギ)、伊邪那美(イザナミ)の二柱の国生みが、丁寧なタッチで描かれています。特に海に細いペンで丹念に描かれた線が、画面に深い奥行きを与えており、キラキラと光る天沼矛(アメノヌボコ)から滴るしずくの輝きと、海の暗さとの対比が、まさに国が生まれようとする瞬間を表しているように感じました。

令和四年度崇敬会

名誉会員 四名

岡本昇士、石田泰輔、吉安克彦、寺内俊太郎

特別会員 五十三名

吉川明美、和田豊、山口喜代一、山本保子、橋本庸広、池本正士、松浦克彦、村田充男、高橋忠義、後川義雄、清水義昭、洪佳久、太田竜地、西谷久美、平尾哲朗、嶋和子、高田佳明、春日丘八幡宮三輪紀雄、山口幸子、成田暢行、加賀本昭雄、門口長敏、北野文清、丸岡幸男、播磨美智子、安岡優子、富岡士純、小縣勝広、森川善男、日の丸マーケット、佐藤章、市川文、西口陽久、布川廣志、賛田久美子、株式会社志、林實、亀井盛友、宇根元崇泰、佐藤昌子、王尾弘三、岡倉三郎、矢久間進、別所知子、大阪住吉モラロジ―事務所、水野俊子、北條多也、大黒晃、松村拓真、辻本美穂、西の靖國神社伴林氏神社、山本孝義、笠良徳

正会員 一一三名

畑山俊一、豊田孝、石丸ツル子、廣畑和歌子、樋口栄一、吉田公、三浦繁之、可児哲也、山下朋子、柳川謙次、杉山まき、田中清英、村田多津雄、加藤秀治、片山佳子、樋口正美、中村惠俊、西尾豊治、櫻井靖子、富永修治、測上裕子、竹生武雄、吉崎敏、小林洋司、小笠原將之、古谷吉彌、堀田春美、大谷萬智子、阪口吉男、豊洲牧子、矢野義信、安田耕吉郎、大谷睦子、阿部頼子、細川忠義、井上睦美、山田健司、神谷辰男、洪嘉倫、遠藤友啓、尾崎充賢、林靖浩、高岸實、櫻井比砂、細川正智、末廣明美、高野修、丁野敬子、山田壽子、

大村金三、喜田尚子、平田大二、田中義昭、宮路芳勝、亘正幸、伊藤淳佑、河合正雄、垣内治、グリーン産商(株)、若狭千鶴子、岡田経子、岸岡サトミ、鳥谷茂晃、新開賢二、丸山公紀、戎智子、戎政子、仲谷隆、田島康子、早崎恭子、内田知哉、古市静子、葭仲勉、藤原宗一郎、桂史子、橘高益造、長井咲子、横山拓生、跡見昴子、加藤均、藤原三千代、小野新一朗、山田久美子、長原正明、水口教子、福田淳子、太田達也、草村克彦、新井美佐子、吉村伊平、佐伯宗平、南野守、藤本キヨ子、宮腰隆、岩田郁代、辻喜代子、樋口悟康、平田武志、山本弥助、井上浩三、前垣雄次、石原欽子、井上信久、秋丸美香子、吉川竜介、永田彰宏、伴崇満、原澤徹、幸木大、増田信弘、小林一枝、市道稔、坂本敏文

賛助会員 一一九名

平野久男、田中みづき、宮脇貞子、杉村洋子、大北博宣、住吉耕作、山本昭雄、中村文昭、古澤清、船木敏治、田中義昭、村上康司、近藤壽子、杉山寿康、津田政信、谷井仁、荒木久代、川西康之、和田道昌、小川忠子、中川博、松阪喜久子、森田武志、吉見昌子、西口毅、古瀬雅通、奥田巨、川本三郎、芦生清、中尾一子、梶井美代子、松尾春美、山田道子、清水利夫、上野信子、杉岡比呂子、前田春子、阪口ゆみ子、森實、西川勝弘、村上一道、長谷部嘉男、三浦時生、中谷忠三、津田泰尚、久保孝典、岩橋孝、吉野猛、今西令子、田中富博、時倉強、寺尾恵子、室谷一、箕山慶一、芦田勉、鳥居雅子、竹辻宣明、楠橋泰秀、東郷洋、釣久仁雄、佐久間操子、阪口郁子、丹原輝彦、中谷易世、大橋敬、峰敏晃、八田加代子、岩切さよ子、辰巳幸子、田畑純子、大野圭一、吉富繁人、

遺族会員 四十五名

池永重彦、浅井淳一、佐野美代子、藤本貴子、村上貞彰、中村久子、西野健二、岡忠良、南文雄、総元正子、阪井啓剛、田端正克、杉本弘一、山崎美智榮、石橋栄子、山口忠司、古田日出生、宮本道子、北村潤子、山中幸江、萬谷瑞穂、中平競子、中島直也、岡田チカ子、楠本一彦、小野林欣一、永田脩、吉田敬子、権田玉比、清永弘、米矢貞文、村上はつよ、三木一弘、三木君枝、田中藤茂、岡利一秀、川島弘子、長田愛、簾谷和埜、田中達夫、杉本万千子、三原さち子、宮内戸美、大仲文子、藤原隆造、上谷佳枝、岩見恵美子

(順不同・敬称略) 令和四年八月十六日現在

八十周年奉納者名

壹拾参萬円 西田由佳子

壹拾萬円 森田武志

五萬円 和田洋子

参萬円 安並紫、弓場昇、洪嘉倫、株式会社ウイング、洪佳久

貳萬円 泉南市遺族会

壹萬五千元 笠良徳

壹萬円 石田泰輔、梶原龍児、山本孝義、清水義昭、久保秀樹、阿部靖子、西野泰子、小林一枝、山田道子

五仟円 齋藤貴臣、吉富繁人、淵上陽子、大仲文子、田中清英、村中安子、神藤良子、伴崇満、立羽アイキヨ、荒川八重子、中村清司、小林晶美、西野健男、杉本孝、玉田広治、阪口郁子、山本恵司、丹原輝彦(順不同・敬称略)

令和四年三月十五日より同八月十六日

社務日誌抄

(令和四年)

一月

- 一日 中祭 歳日祭齋行
- 同日 皇室隆昌安泰祈願祭齋行 初詣
- 二日 崇敬者隆昌安泰祈願祭齋行 初詣
- 三日 中祭 元始祭齋行 初詣
- 七日 昭和天皇遙拝式齋行
- 九日 神州正氣の会 一月例会開催
- 十日 成人之日祭齋行
- 十五日 古神札焼納祭齋行 お焚き上げ
- 三十日 日の丸マーケット開催
- 同日 山中浩市氏公演会開催

二月

- 三日 節分祭齋行
- 八日 仁徳天皇正辰祭(浪速宮)齋行
- 十一日 中祭 紀元祭齋行
- 十二日 すみのえマルシェ開催
- 十三日 神州正氣の会 二月例会開催
- 十七日 中祭 祈年祭齋行
- 二十日 第16回あさぎ設立奉告祭齋行 勉強会開催
- 二十三日 中祭 天長祭齋行
- 二十七日 日の丸マーケット開催

三月

- 四日 玄山英子氏主宰セミナー開催
- 五日 第7回清掃奉仕隊 三十四名参加
- 十日 陸軍記念日祭齋行
- 十二日 すみのえマルシェ開催
- 十三日 神州正氣の会 三月例会開催
- 二十一日 春季皇霊祭遙拝式齋行
- 同日 春分の日祭・はまれの宮祖霊祭齋行
- 二十六日 本殿にて玄山英子氏主宰コンサート開催
- 二十七日 硫黄島協会阪神支部慰霊祭齋行
- 三十日 東住吉区遺族会慰霊祭齋行
- 同日 日の丸マーケット開催
- 三十一日 日の丸マーケット開催

四月

- 二日 第8回清掃奉仕隊 二十六名参加
- 同日 同期の桜を歌う会開催
- 三日 神武天皇遙拝式齋行
- 七日 砲二六会永代祭齋行
- 同日 戦艦大和慰霊祭齋行
- 九日 すみのえマルシェ開催
- 十日 歩二一七会永代祭齋行
- 同日 神州正氣の会 四月例会開催
- 十八日 一生会永代祭齋行
- 二十八日 主権回復之日祭齋行
- 二十九日 中祭 昭和祭齋行
- 同日 檜一一五会永代祭齋行
- 同日 日の丸マーケット開催

五月

- 三日 大阪萌黄騎捜会永代祭齋行
- 五日 子どもの日祭齋行
- 六日 傾斜路工事着工安全祈願祭齋行
- 七日 第9回清掃奉仕隊 二十名参加
- 八日 すみのえマルシェ開催
- 同日 神州正氣の会 五月例会開催
- 十日 ロイヤルホームセンター地鎮祭齋行
- 十四日 歩八会永代祭齋行
- 十五日 沖繩本土復帰五十年奉告祭齋行
- 二十日 春季例大祭齋行
- 二十七日 海軍記念日祭齋行
- 二十九日 関西水交会慰霊祭齋行
- 三十日 東郷祭(浪速宮)齋行
- 同日 日の丸マーケット開催

六月

- 四日 第10回清掃奉仕隊 三十二名参加
- 五日 ミッドウェー海戦慰霊祭齋行
- 十日 元鐵道第十五聯隊永代祭齋行
- 二十三日 沖繩慰霊之日祭齋行
- 同日 南河内郡河南町遺族会慰霊祭齋行
- 二十五日 堺市北区中村町遺族会慰霊祭齋行
- 二十九日 日の丸マーケット開催
- 三十日 夏越大祓式齋行

毎月の恒例祭典 各十時より齋行致します。ご自由に
参列頂けますので是非お越し下さい。

- 一日 朔日祭・誕生日祭(元旦を除く)
- 五日 月次祭・はまれの宮月次祭
- 十五日 望之日祭(八月を除く)
- 二十五日 無縁故祭

毎日九時 大祓・日供祭 こちらも自由に参列頂けます
ので是非お越し下さい。
(正月期間・例大祭及びみたま祭の当日と前日を除く)

SNSの発信について

Twitter、Facebookに続いて
今年の四月よりInstagramも開設致
しました。

SNSを通じて大阪護國神社で行われてい
るお祭りやイベントの情報、また境内に咲い
ている花や何気ない写真などの情報を投稿し
ております。

SNSでの情報発信を本格的に始めたところ
皆様のおかげでこの三ヶ月間にFaceb
ookは毎日のように友達リクエストが届き、
Twitterはフォローワー様一二〇〇人
突破、Instagramは二〇〇人突破致し
ました。ありがとうございます。

これからも情報発信を頑張ってまいります
ので宜しくお願い致します。

大阪護國神社公式アカウント

- Twitter @osakagokoku
- Instagram @osakagokoku
- Facebook 大阪護國神社

速報 本殿横スロープ完成

前号でお伝えしておりましたスロープが無事に完成し、去る八月二日に渡初め式を行いました。十五日の英霊感謝祭では早速車椅子での昇殿を始め多くの方にご利用頂きました。また社務所には車椅子を用意しておりますので、必要な方は職員にお声がけください。合わせてスロープ前を福祉駐車場といたしましたので、車椅子での昇殿参拝が容易となっております。どうぞご利用ください。これからも気持ちよくお参り頂ける様に、境内整備事業を引き続き進めて参ります。



清掃奉仕隊活動報告

毎月第一土曜日に清掃奉仕隊による清掃奉仕活動を行っております。

第七回三月は三十四名、第八回四月二十六名、第九回五月二十名、第十回六月三十二名、第十一回七月十七名のご参加で境内清掃を行って参りました。午前十時より一時間皆で汗を流して、終了後に正式参拝を行い、その後は宮司を囲み茶話会を催し歓談をして交流を深めました。幼児から八十年代まで「頑張り

すぎない。楽しく！」をモットーに各自で出来ることを分担し、境内の清掃奉仕を通じ英霊に慰霊顕彰を行っております。皆様も都合が良ければ是非ご参加ください。

●時刻：毎月第一土曜日 十時より

●持ち物：軍手・タオル

作業後本殿にて正式参拝を行い、その後神職を囲んで茶話会を開催しています。お問い合わせは社務所まで。

大阪護國神社清掃奉仕隊御芳名

第七回より第十一回まで (順不動・敬称略)

岡部和久、田中満、田代幸治、前田誠、森本淳一、藤井一、尻谷廣海、玉宅修、上原功喜、笠松宏之、久宗英俊、国米由恵、宮坂政幸、岸茂子、久保真実、久保暢ノ輔、一野文男、吉沢由紀江、佐々木和多留、山本敬貴、中本真吾、西脇まり子、平沢知永子、平沢麻緒、宮本奈美、海田さるを、海田さるみ、西村日加留(府議会議員)、西村忍、西村悠斗、山崎真、太田竜地、太田佳誉、濱田憲三郎、菊池京介、菊池みのり、上野山弘美、山崎陸男、西谷久美、谷岡省爾、中島直也、宮坂正幸、赤堀由枝、塚本正樹、門田三郎、佐伯宗平、成富修、辻田充司、山本真千、今井喜美、石山慶淳、野々垣富也、吉岡伸太郎、垣内秀造、今井弘毅、小谷多美子、山口新吾、池田恵子、藤森文雄、森田祐利栄、西野健男、西野弘子、松室和子、渡部真治、武田了治、赤井洋、山下清司

清掃奉仕御礼

四年一月より七月末まで

境内清掃・草むしり

(団体)

大阪掃除に学ぶ会様

日本会議大阪様
霊友会第八支部ふれあい隊様
阿含宗大阪道場様

神州正氣の会様

住吉モラロジエ有志様

靖國神社崇敬奉賛会あさなぎ関西支部様

(個人) (順不動・敬称略)

櫻井靖子、濱田憲三郎、三浦撃之、下元明海、山野清春、赤松修、大村金三、安田至董、長瀬修則、正井清夫、神谷辰男、山本敬貴、山内勇二、菊池京介・みのり、津田良子

樹木剪定

豊田孝様

編集後記

通算六十一号の社報をお届けいたします。本年も子ども達の素晴らしい絵画が沢山届き英霊に届けと提灯を掲げました。四月より田中満権禰宜・鈴木李弥巫女が職員として入社しました。田中権禰宜は長い助勤の経験から即戦力として大いに期待を上回る活躍を見せてくれています。また新卒採用の鈴木巫女は若き感性からSNSを中心に授与所や来客の対応に笑顔いっぱいにお迎えし皆様に好評を頂いております。八十周年奉賛事業の一環として本殿横にスロープも完成しておりますので、職員一同是非御参拝をお待ちしております。

(岡)